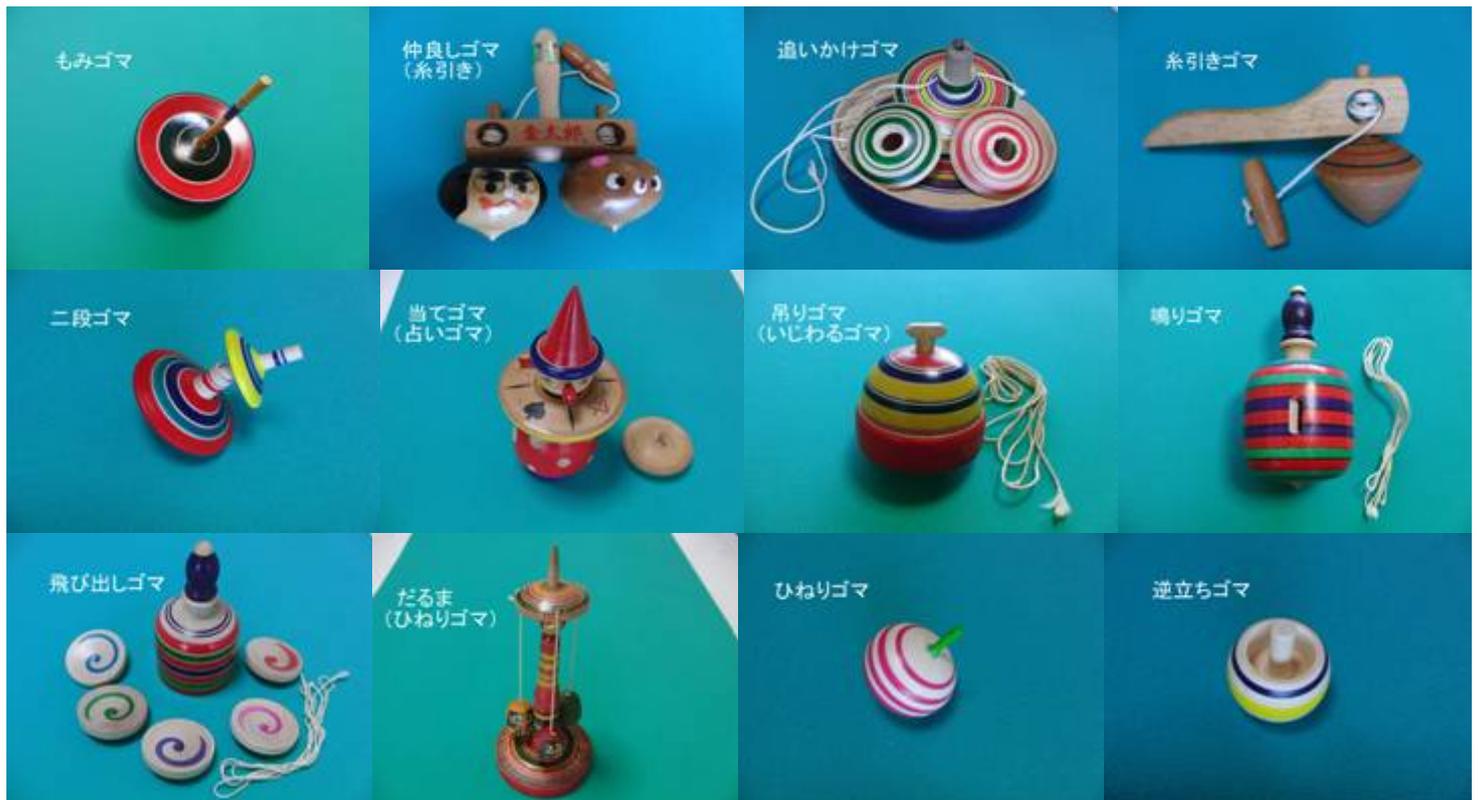


江戸ゴマで遊んで逆立ちゴマをつくらう

ベンハムのコマも作るよ！白黒なのに回すと色がついて見える！

1 江戸ゴマで遊んでみよう

江戸時代元禄の頃にはコマ遊びが大流行し、いろいろなコマが工夫されました。今もその伝統が残っていて、いろいろなコマが作られています。



その他



2 回し方によるコマの分類 江戸独楽 広井道顕・広井政昭 編著 日貿出版社より

- ① ひねりゴマ 指先（ふつう人差し指と親指）でひねるように回す。小さいコマ。
- ② もみゴマ 両方の手のひらで、コマ上部の長い心棒を、もむようにして回す。
- ③ 糸引きゴマ
 - a コマの上部心棒に糸を巻き付け、何かで押さえて糸を引く。
 - b 二つに折った長い糸を上部心棒の下から上へ巻いていき、巻き終わったら、先端の二本の糸を左右の手で一本ずつ持ち、反対方向へ引っ張る。
- ④ ひも巻きゴマ（投げゴマ） ひもを、コマの下部から上部へと巻いていき、巻き終わったら、ひもの上端とコマを同じ手で持って、投げ出すようなかっこうでコマをほうる。
- ⑤ たたきゴマ ヨーロッパの古い文献や資料によく出てくるのは、このたたきゴマが多い。コマの回る勢いが落ちてくると、ムチでたたいて回し続ける。
- ⑥ つりゴマ 江戸ゴマの一種で、回し方がすぐにわからないことから、「いじわるゴマ」ともよばれる。コマの上部にあるへソに二つに折った糸をかけて片手でつるし、もう片方の手でまわして、糸をよる。それから二本の糸を左右に引き、コマがはなれるところに下に下ろす。
- ⑦ 吹きゴマ コマを下に置き、口で吹いて回す。小さく、軽いコマ。
- ⑧ 輪鼓（りゅうご） 両端に柄の付いたひもを、中央のくびれた部分に巻かずにかけて回し空中に投げたり、また受けたりする。中国雑伎の一つ。
- ⑨ ちょんかけゴマ 皿上の木の円盤に鉄心を打ち込んだもので、鉄心の付け根にひもをかけて回し、投げ上げたり、足の間や背後をくぐらせるなど、さまざまな技を競う。

3 つくってみよう

ベンハムのコマ

逆立ちゴマ



左からふくろナット・ナット・ワッシャ・ワッシャ・ナット

次回予定 2月25日（土）

「静電気モーターを回してみよう」

リングを使った逆立ちゴマの作り方と遊び方 2016. 6. 24 馬目 秀夫

用意するもの



カードリング
(直径4.5cm程度)
厚紙(工作用紙など)
幅2cm、長さ5cm
程度 2枚
ホチキス(両面テープ)
はさみ
鉛筆
色サインペンなど
(色を付けるもの)

作り方 追記 ホチキスでとめるのではなく、両面テープではるようにすると簡単!



1 リングに沿って線を引く (位置に注意)



2 線に沿って切る



3 2枚を重ねて5mmほど内側をとめる



4 間を開く

5 リングにはめる



6 絵を描く



遊び方



頭を軽く押さえてはじく。途中で上下が逆になるのを観察する。

追記 真正面からではなく、少し斜めにしてはじくと回りやすい。
下に新聞紙を敷くなど、多少摩擦があった方が回りやすい。